

# 伊勢っ子

H29. 10. 23

伊勢小学校

10月号



秋本番を迎えています。この秋、学校では様々な行事を行っています。

まず第一弾が、秋季大運動会。9月30日は天候に恵まれ、絶好の運動会日和となりました。保護者やご家族、ご来賓、地域の方々、多くの皆様から温かい応援をいただき、子どもたちははりきって演技や競技に臨んでいました。練習の努力が大いに発揮され、子どもたちのがんばる姿に感動する運動会になったと思います。父母教師会役員の方々をはじめ、保護者の皆様には、早朝の場所取りから、後片付けまでたくさんのご協力をいただきました。心からお礼を申し上げます。

さて、今回の学校だより10月号は、4月に実施した全国学力学習状況調査の分析結果の概要についての特集号です。いつもの縦書きではなく横書きで、紙面もA3の両面となります。

このたび、本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせします。本校のホームページにも掲載して参ります。また、地域の皆様にも、回覧をしていただき、お知らせして参ります。調査に参加した6年生保護者には、個別懇談の折に個人票をもとに課題等についてご説明いたします。よろしくお願いたします。

## 「全国学力・学習状況調査の分析結果の概要」 についてお知らせします

### 1. 調査の内容について

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語A「知識」に関する問題（20分） ・国語B「活用」に関する問題（40分）
- ・算数A「知識」に関する問題（20分） ・算数B「活用」に関する問題（40分）

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・基本的な生活習慣 ・学習時間や方法、興味、関心、意欲 ・自尊感情、規範意識 等

### 2. 本校の状況

国語A「知識」：全国平均とほぼ同程度である。国語B「活用」：全国平均よりやや上回っている。

算数A「知識」：全国平均とほぼ同程度である。算数B「活用」：全国平均とほぼ同程度である。

【参考】平成29年度全国学力・学習状況調査 教科別平均正答率（％）

	国 語		算 数	
	A問題	B問題	A問題	B問題
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9
県 平均	74	56	77	43

※文部科学省により今回から県の平均などは整数で発表されることになりました。

※全国学力・学習状況調査の結果につきましては、山梨県教育委員会の分析にもあるように、全国平均正答率の±5%の範囲にある場合は、全国平均とほぼ同程度であると考えています。

### <全体として>

本校の結果は、国語B「活用」は全国平均を上回っていたのは好ましい状況であると捉えています。国語A「知識」と、算数AB「知識」「活用」については、全国平均とほぼ同程度でした。

平均正答率を比較すると、国語、算数ともに、A問題「知識」に比べ、B問題「活用」の正答率が低く、これも全国や県と同様の傾向が見られました。

理由や説明などを文章で書き表したり、数や言葉を使って書いたりする記述式の設問については、全国や県と比べると、無回答が少なく、難しい問題にも粘り強く取り組んだ様子がわかります。

## 2 本校の主な課題【平均正答率が低かった問題】

**国語A** ・設問② 二 手紙の後付け（「日付」「自分の名前」「相手の名前」）の書く位置や順番が正しいものを選ぶという問題。

・設問⑦(1) 漢字の書き取り問題。

参加「たいしょう」 → 答「対象」

誤答として、「対」は書けているが「象」が書けていない解答が多い。

**国語B** ・設問② 「緑のカーテン作りへの協力をお願い」という依頼文を作るという場面設定  
問三 「水やりに協力してくれる人を募集します」の空欄の中に、文章中に記されている中学生からのアドバイスをもとに当てはまる内容を30字～60字で記述する、という問題。

・設問③ 物語「きつねの写真」の一部を読んで、各自が考えたことを学級で話し合っているという場面設定

問二 物語を読んで話し合っている中で出された2つの発言の意図は何か。その意図として適切なものを4つの選択肢の中から1つ選ぶという問題。

**算数A** ・設問②(4)  $5 \div 9$ （商を分数で表しましょう） → 答  $\frac{5}{9}$

誤答として、 $\frac{9}{5}$  ,  $1\frac{4}{5}$  , 小数で解答 など

**算数B** ・設問③ (2) 平均の求め方を考える問題

表2 ①の位置に来るまで輪ゴムののばした場合の記録

回数	車が進んだきょり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。  
 $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$   
 7 m に、求めた平均の40 cm をたします。  
 車が進んだきょりの平均は、7 m 40 cm です。



はるな

7 m のかわりに、7 m 20 cm をこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

問 (2) 7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

・設問⑤ (2)

問題文の中で、満月の大きさで、「最大の満月の直径」は「最小の満月の直径」の14%長くなっていることを説明されている。

このとき、右のように硬貨の直径を示して、「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」は100円玉と500円玉のどちらの直径に近いかを選び、その理由を言葉や式を使って書くという問題。

硬貨の種類とその直径

1円玉	100円玉	500円玉
		
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

### 3 教科における主な改善点

#### 国語



- ・依頼状や案内状、礼状などの実用的な文章を書く場面は実生活で必要なことである。国語の授業のほか、学校行事や総合的な学習などで地域の方々や外部講師にお世話になった機会にお礼状を書く学習を行うなどして、手紙の書き方を身につけていくようにする。
- ・漢字を身につけたり語彙（ごい）を増やしたりするためには、国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣をつけることが重要である。そのためには、辞書の利用について学習する3年生から意図的・計画的に指導していく。
- ・場面設定や聞き取ったことの内容を読み取り、理解する力を伸ばすために、国語の授業はもちろん、他の教科の授業においても積極的に読む場面を設定して授業を進めるようにする。
- ・物語や小説などに親しみ、優れた表現に触れることにより、書く・話すなどの表現する力を豊かなものとするように朝読書の充実など読書活動を一層推進していく。
- ・説明や文章を書く力を向上させるため、低学年の時から、学習感想を書く、板書をまとめるなど、ノート指導を重視し、学年を追って意図的・計画的に指導していく。

#### 算数



- ・わり算の商を分数で表せることを確認するとともに、分数を図や数直線などで視覚的に表したり、整数や小数と対比したりするようにして、分数の理解を深めていくようにする。
- ・定規やコンパス、分度器などの用具を使用しての作図や製作活動を意図的に仕組んでいくことにより、図形について体験的に学び、その性質の理解を深めるようにする。
- ・直角三角形や正方形・長方形など平面図形や、立方体や直方体などの基本的な立体を、実際に手で触れて並べたり組み合わせたり、移動したり回転したりする活動を取り入れながら、図形についての多様な見方や思考ができるようにするとともに、面積や体積を図をイメージして求められるようにする。
- ・答を導き出すまでの方法が複数ある問題場面を設定し、いろいろな考え方を見つけ出すことを重視した授業を展開し、多様な考え方を発見しようとする意欲を向上させていく。
- ・拡大、縮小は、地図や設計図など身近なところで活用されている。この基本となる考え方が「割合」である。割合は、実生活の中で活用される場面が多い内容であり、実生活と結び付けた問題場面を設定し解決していく学習を展開していく。

### 4 質問紙調査の主な特徴

#### (1) 生活習慣に関わって

- ・「朝食を毎日食べていますか」の質問に対して、「あまり食べていない」または「全く食べていない」と回答している児童の割合が約1割。大変心配な点であり、直ちに改善する必要がある。
- ・「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか」の質問では、「している」または「どちらかといえばしている」が5割で、「あまりしていない」または「していない」が5割であった。
- ・「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問では、「守っている」または「だいたい守っている」が約6割で、全国より10ポイントほど高かった。この質問で、「携帯やスマートフォンを持っていない」と回答した児童は約3割で、全国が約4割なので、全国と比べて携帯やスマートフォンを持っている児童の割合は高い。

#### (2) 学習に対する関心・意欲・態度に関わって

- ・「国語の勉強は好きですか」また「算数の勉強は好きですか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答している児童の割合は、国語・算数いずれも約6割で、全国とほぼ同じである。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」また「算数の勉強は大切だと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答している児童の割合は、国語・算数いずれも全国と同様に9割を超している。
- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童は約7割で、全国の5割を大きく上回っている。

### (3) 家庭学習について

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対し、1時間以上（選択肢 3時間以上、2～3時間、1～2時間 の合計）と回答している児童の割合が約6割であり、全国の約7割より低い。
- ・「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の質問に対し、1時間以上（4時間以上、3～4時間、2～3時間、1～2時間の合計）が約5割で、全国の約6割より低い。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、「している」または「どちらかと言えば、している」と回答した児童の割合は約6割で、全国とほぼ同じである。

### (4) 地域との関わりや社会への関心について

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は約6割で、全国とほぼ同じである。
- ・「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」では、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童は約4割で、全国より5ポイントほど高い。
- ・「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」の質問に対して、「よく見る」または「時々見る」と回答した児童の割合は8割を超えている。これは全国とほぼ同じである。

### (5) 道徳性に関して

- ・「学校のきまりを守っていますか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は約9割を大きく超えており、全国より5ポイントほど高い。
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」では、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は約9割を超えており、全国より10ポイントほど高い。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、全員が「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答をしている。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は全国の約8割5分と同程度である。

## 5 質問紙調査からの改善点

- ・小学校段階での基本的な生活習慣をしっかり身に付けられるように、「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち」を推奨し、各学年に応じて家庭と連携して取り組んでいく。
- ・学習への関心や意欲を向上するように、成就感や達成感を味わうような授業づくりをする。特に学校では、友達から褒められたり認められたりする学級づくりに取り組むことが大切である。
- ・子どもの社会性を育てるために、地域の行事や活動に保護者と一緒に積極的に参加していく。
- ・「夢や目標」を持ち、将来の自分の期待する姿を描けるように、地域人材や先輩の生き方を教材とした授業づくりや、町探検や校外学習などによる体験的な活動の場を学習を推進していく。
- ・携帯電話やスマートフォンを持つ小学生がますます増えてくることが予想される。生活リズムの乱れや家庭学習などに影響を与えることが心配される。家庭と連携して対策していく必要がある。

伊勢小では、子どもたちの学習意欲を高め学力の向上をめざして、全校一丸となって「授業改善」に日々取り組んでいます。授業改善のために、校内研究を推進しています。

校内研究では、授業をもとにした授業研究会を中心に研究しています。

授業研究会とは、まず、学習指導案（授業の計画書のようなもの）をみんなで何度も検討して練り上げ、これをもとに代表教師が授業を行うのを全員で参観し、授業後には児童の学ぶ様子を分析して授業の目標が達成できたかどうかを討議し合う、というものです。

優れた授業の根本は、「児童理解」です。児童一人一人の学習状況や学び方、学習スタイル、興味関心などをより深く理解することです。

「全国学力・学習状況調査の報告」は、より児童理解を深めるための材料の一つです。分析結果を踏まえ参考としながら、授業改善に努めて参ります。